

愛臨技學術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：令和 4 年 5 月 15 日 報告者：長 瀧 和子

行事種別	研究会	行事番号	220000419	
開催日	令和 4 年 5 月 14 日 (土)			
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了	17 時 10 分
場 所	ライブ配信			
テーマ	炎症性腸疾患のバイオマーカーを知ろう、愛知県も今寄生虫が危ない			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司 会	藤田医科大学病院		長 瀧 和子	
講 師	1.便中カルプロテクチンについて アルフレッサファーマ株式会社 マーケティング部 大村 稔 2.愛知県でも遭遇しうる重症化する寄生虫疾患 藤田医科大学 医療科学部 仲本 賢太郎			
内 容	講演 1.の便中マーカー「カルプロテクチン」は近年保険収載された項目で、炎症性腸疾患のマーカーです。炎症性腸疾患の罹患率・有病率は年々増加傾向で、自施設で測定している病院はまだ少数と思われますが今後活用が大いに期待される炎症マーカーです。便検査に関しての講演会は少なく勉強し辛い中、カルプロテクチンの測定意義から使用例に関し分かりやすく解説を頂きました。参加者からは「外注検査数が増加してきており今後の対応の参考になった」「これまでのカルプロテクチンの勉強会の中で一番理解しやすかった」とのご意見を頂くことができました。 講演 2.の「寄生虫」に関しても、寄生虫に遭遇する機会が減少している上に勉強会・講演会が非常に少ないのが現状です。そのため古い知識のままの方も多いのではないかと考え今回の講演に至りました。マダニの咬傷から感染する SFTS は致死率も高く西日本から拡大傾向にありましたが、昨年度愛知県でも症例が確認されました。今後も症例数は増加していくものと予想されます。今回はマダニに焦点を絞っての講演を頂き、参加者からは「非常に参考になった」「身近な疾患となってきたため詳しく聞けてよかった」「今後も違う寄生虫の講義が聞けたら」とご意見を頂いています。 今回の研究会は深く狭くの内容でしたが、多くの方に興味を持って聴講頂けたと思います。			
参加者	総数：115 名（会員 71 名、県外会員 42 名、非会員 2 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）（レポート提出：112 名）			
共催、後援など	なし			